

花巻市市民参画・協働推進委員会（第3回）会議録

日時 平成26年12月5日（金）午前10時～午前11時40分
場所 花巻市生涯学園都市会館 3階 第1会議室
出席者 委員出席者11名 佐藤良介委員長、小原幸子副委員長、高橋正行委員、小原正通委員、鈴木卯造委員、葛巻徹委員、藤原裕子委員、岩館大輔委員、平野順子委員、高橋久美子委員、鎌田豊子委員
委員欠席者4名 和田政男委員、佐藤淑憲委員、土田和長委員、今村眞弓委員
市側出席者4名 久保田地域づくり課長、中村主任主査、八重樫主任、中村都市再構築検討プロジェクトチーム副班長
傍聴等 1名

- 次第
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 市民参画の事前評価について
 - (2) その他
 - 4 閉会

1 開会 事務局（中村主任主査） 本日は、委員総数15名中11名の委員の方の出席をいただいておりますので、成り立っておりますことをご報告いたします。それでは、第3回花巻市市民参画・協働推進委員会を開催いたします。まず、花巻市地域づくり課の久保田課長よりご挨拶申し上げます。

事務局（久保田課長） 本日は、急なご案内にも関わらずご出席いただきましてありがとうございます。本日は、「まちづくりと施設整備の方向（立地適正化計画による都市再構築の方針）」と大変難しい内容でこのあと説明させていただきますが、中央図書館やこどもの城を含めた中心市街地の活性化について、市民の皆さんにとっても関心のある内容であると考えております。急ではありましたが、本日皆様方からご意見をいただきたいと存じます。

事務局（中村主任主査） では、佐藤委員長からご挨拶をお願いします。

2 あいさつ 佐藤委員長 12月に入りましてお忙しい中、また、急なご案内にも関わらずご参集いただきまして厚く御礼申し上げます。日本全体が人口減少の時代に入ったということで、人口減少対策が大きな課題となっているわけですが、花巻市も合併以来、ピーク時は10万7千人を超えた人口も先日10万人を切ったという状況で、人口減少、少子高齢化が進んでいます。そういった中で、花巻市の施策としても人口減少対策や中心市街地の活性化の2つのテーマで進められているという状況です。この2つのテーマについて、新しい施策が出されるということですので、それらについての市民参画のご協議をいただきたいと思っておりますので、よろしく慎重審議をお願いいたします。

3 議事 佐藤委員長 議事に入ります前に、今回で3回目の委員会ですが、初めて出席されます委員から一言いただきましてから議事を進めてまいりたいと思っております。JAの経営企画課長の高橋正行さんです。

- 高橋（正）委員 高橋正行と申します。全2回とも欠席させていただき失礼いたしました。本日はよろしくお願ひいたします。
- 佐藤委員長 それでは、議事に入ります。本日は、市民参画の事前評価1件でございますので、よろしくお願ひしたいと思います。対象の名称は、「まちづくりと施設整備の方向（立地適正化計画による都市再構築の方針）」についてですが、まず建設部都市政策課都市再構築検討プロジェクトチームの中村副班長から概要の説明をお願ひいたします。
- 都市（中村副班長） 「まちづくりと施設整備の方向（立地適正化計画による都市再構築の方針）」に基づき説明
- 佐藤委員長 それでは、地域づくり課の中村係長より市民参画の計画の説明をいただいた後、皆様からご質問やご意見をいただきたいと思ひます。
- 事務局（中村主任主査） 平成26年度計画・条例一覧表（参画対象）及び市民参画計画書に基づき説明
- 佐藤委員長 まず、「まちづくりと施設整備の方向（立地適正化計画による都市再構築の方針）」の内容について何かありましたら、よろしくお願ひいたします。
- 葛巻委員 立地適正化計画による国の支援はどのような内容でしょうか。
- 都市（中村副班長） 1施設の整備にあたり最大で8億5千万円です。
- 葛巻委員 花巻市が受けることができる総額はいくらかでしょうか。それと事業名を教えてください。
- 都市（中村副班長） 全体ではなく、1事業ごとの支援となっております。事業名称は、「都市機能立地支援事業」は民間への補助金の事業です。また、「都市再構築戦略事業」は事業を実施する市町村への交付金であります。
- 鎌田委員 中部病院への救急搬送が非常に増えているということです。自分の家族が救急搬送することになり、中部病院を希望したが、混んでいて受け入れてもらえなかった。結果的に東和病院へお願ひしたが、救急体制の格差があると思ひます。病院の受け入れ体制の連携強化へもっていただけたらと思ひます。
- 小原副委員長 図書館ですが、その都市の文化のバロメーターと良く言われます。一関市の図書館は非常に大きく、50万冊以上の蔵書可能となっているようです。人口規模や市域面積の違いはあると思ひますが。あと、一番心配なのは、総合花巻病院が厚生病院跡地に行き、図書館をどうするか、こどもの城も大切ですが、計画を早く進めていただければと思ひます。
- 佐藤委員長 27年度に立地適正化計画を策定し、完成年度はどのようになりますか。
- 都市（中村副班長） 資料に示している施設でもかなり長期間を要します。市街地の土地は限られております。ですから、1つの施設が動いて、次の施設が移転するといったような形ですの

で、長期間を要さざるを得ないものです。ですが、イーハトーブ養育センターなど、早急に対応しなければならぬものもあります。市の財政状況も厳しく、湯口中学校、大迫中学校の整備に多額の費用を要します。そういった整備も念頭に置きながら、進めなければなりません。

鈴木委員 以前から厚生病院跡地への移転という話はあったが、いくら予算がかかってもいいという話ではないと思う。いくら予算がかかるということを念頭に置きながら、計画を立てていくべきだと思います。

佐藤委員長 市の財政状況を鑑みながらというところでしょうか。その財政状況について何かありますか。

都市（中村副班長） おっしゃるとおり、これ以上市民の皆さんにご負担を求めることはできません。これから計画を進めるにあたっては、どれくらい予算が必要か検討することは必要になってきます。また、総合花巻病院のほうも整備を充実させるためには多額の費用を準備する必要があります。しかし、お金が一番大事かという点必ずしもそうではないと思います。市民の生命を守る医療は、お金と比べられないと思います。中部病院も緊急で患者を受け入れ、手術を行い、早い段階で他の医療機関へ移しているようです。そうしますと中部病院を出されても、自宅へ帰るまでにまだ医療を受ける施設が、高齢者が増えてきますと必要があります。そういった状況ですので、お金も大事ですが、市民の生命を守る医療も整備も必要であると考えております。市立病院があります市町村では、年間、一般会計から十数億円を病院の会計に繰り入れていると聞きます。

佐藤委員長 立地適正化計画の中で、財政状況も加味されていくと思います。

都市（中村副班長） そうです。それぞれの計画が進む中で事業規模が決まってくるものですので、その際には、また皆様に計画案を示して市民参画の手続きを行っていきます。

高橋（久）委員 県の方針もあり、厚生病院と北上病院が一体となり、中部病院ができましたが、その結果がこのように困っている人が多くいることにつながっていますが、もう一度、県に県立病院の設置を呼び掛けたり、市立病院の設置を検討も予算がかかることとは思いますが、そのあたりも視野に入れていただきたいと思います。もう一点ですが、市内には4つの図書館があるが、花巻地域のみ充実するのではなく、4館の連携や近隣自治体の図書館との連携も検討してはどうでしょうか。花巻図書館には、宮沢賢治に関するものや花巻の歴史に関する書籍が少ないように感じます。そういった書籍を充実させるなど特徴のある図書館にしてはどうでしょうか。

小原委員 以前の計画で中央図書館へ先人コーナーを設置し、宮沢賢治などの資料を展示するというので大変期待しておりました。盛岡の先人記念館のような施設を想像して、県内の人への整備計画を紹介してきましたが、本日、説明を受けて断念せざるを得ないと感じました。中心市街地の活性化のためにも、中央図書館へ案内できるなど思っていますが、できないような状況ですが、詳しく説明してもらえますか。

都市（中村副班長） 先人記念コーナーについては、基本構想の段階で規模などは想定されておりませんでした。今後は、新たな施設の整備は困難ですので、既存施設の活用を前提としながら、新図書館が整備された場合は、施設の一面の利用も検討していきたいと思っております。あと、可能かどうかは別にして、まん福は、人が集まる施設としては、現状のままで

は利用できないが、今後、利活用を検討していく必要があると考えています。

小原委員 そんなに大きなスペースは必要ではありませんので、市外からの観光客を迎えて市街地の活性化につながっていくと思います。

岩館委員 図書館は、1日過ごせるような機能が充実した図書館にしてほしいと思います。リノベーションとも関連もあると思いますので、是非進めていただきたいと思います。

平野委員 図書館を先行して進めるより、総合花巻病院の跡地を活用し、充実した内容を検討してほしいと思いますし、図書館はただ本を読むだけではなく、みんなで語り合ったり、先人コーナーもあつたりと充実した施設にしてほしいです。

都市（中村副班
長） 図書館は大変注目されていて、市街地の活性化に活用されている例があります。今までにないような形で整備されています。例えば、紫波町のオガールや武雄市の図書館はT S U T A Y Aが運営していたり、全国にも先進事例があります。以前と違い様々なやり方や組み合わせがあるので、1日利用できるように充実した内容の図書館になるように検討していきたいと思います。

藤原委員 中山間地に住む人も市街地に住む人も同じ市民です。資料は市街地と中山間地の公共交通ネットワークのイメージが記載されている部分が非常に少ないです。一言で「デマンド交通」と言われても理解できない人が多いはずです。地区の説明会では、そのあたりの説明を丁寧をお願いしたいです。市街地に整備された施設への具体的な交通手段などの説明を詳しくしてほしい。

都市（中村副班
長） 立地適正化計画の策定にあたっては、公共交通計画を併せて検討することを予定しています。「デマンド交通」は日本語に訳すと「予約応答型交通」と長い名称になり、バスとタクシーの中間のような交通手段です。現在は、公共交通の計画や3地域の内容が具体的に記載していませんが、計画策定にあたっては、方策を盛り込んでいく予定としています。

高橋（正）委員 立地適正化計画に記載している施設の整備は、国の支援の対象となることでよろしいでしょうか。そうすると、用地や計画の関係で、この計画外でこのような施設整備をしようとした場合、整備していくことは可能でしょうか。

都市（中村副班
長） この資料に記載している施設は、現段階で立地適正化計画で検討できる施設を掲載しているものです。

高橋（正）委員 例えば、立地適正化計画外でも施設整備しなければならないものがあると思いますが。

都市（中村副班
長） 立地適正化計画で整備する施設と個別の計画で整備する施設もあります。全ての施設整備計画をこの立地適正化計画に記載しているものではありません。今後、国の支援を受けられる見込みの施設整備計画が出た場合は、随時盛り込むこともできます。

高橋（正）委員 民間が整備した場合の補助要件は。

都市（中村副班 補助要件のエリアは市の補助要件と同じです。市町村が都市機能誘導区域に指定し

長) たエリアへの施設が対象となります。施設の種類も限定的でして、医療施設は、病院や調剤薬局、福祉施設は特にデイサービスのような通所施設、教育文化施設は学校のような施設で、博物館や図書館も対象になります。商業施設ですが、周辺商業施設と競合すべきでないとの考えがあり、エリア周辺の状況を勘案して、市町村が特に認めた場合に対象となります。

高橋(正)委員 民間で単独で整備することですね。

都市(中村副班
長) 学校等の整備は、市が行うべきものでありますが、商業施設の営利を目的とした施設であれば、民間が単独で整備することが理想的ではないでしょうか。

葛巻委員 都市政策課は、主にハード整備の担当だと思いますが、人口減少社会の中で、ソフトと言いますか担い手づくりは、民間団体の自律性、自発性をすべて支援することは難しいと思います。しかし、市民団体が自ら取り組みたいという団体もあると思うので、応援する仕組みづくりをお願いしたい。

都市(中村副班
長) この資料には、公民連携の取り組みを記載いたします。行政ができることには限界があるため、民間のスキルを活用したいですし、特に若い世代の皆さんに期待したいと考えています。また、立地適正化計画とは別に公民連携の計画は今後策定を予定しています。

佐藤委員長 つづいて、市民参画について、皆様に協議いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なし>

佐藤委員長 では、市民参画の手法①の市民説明会について、ご意見はありませんか。

葛巻委員 市民説明会の開催時間は何時ですか。

都市(中村副班
長) いずれの会場も午後6時30分です。

葛巻委員 子育て世代のことを考えるとそのような時間になると思います。休日に開催するなど、バリエーションを増やしてもらおうと参加しやすいと思います。

佐藤委員長 今回は、人口減少対策と合わせて2時間の予定で開催されるようです。

佐藤委員長 そのほかはよろしいでしょうか。

<なし>

佐藤委員長 つづいて、手法②の関係団体からの意見聴取ですが、皆様いかがでしょうか。この対象団体は「等」となっていますが、ここに記載されている団体のみではないということですか。

都市(中村副班) これが全てというわけではありません。希望される団体がある場合は、対応させて

長) いただきます。

佐藤委員長 希望される団体がある場合は、対応していただけるとのことでしたが、そのほかにありますか。

<なし>

佐藤委員長 つづいて、手法③の有識者からの意見聴取ですが、何かありませんか。

<なし>

佐藤委員長 つづいて、参考ということで既に実施しているもので、パブリックコメントに準じた内容ですが、いかがでしょうか。

<なし>

佐藤委員長 全体スケジュールについてはいかがでしょうか。

<なし>

佐藤委員長 それでは、全体評価にうつりたいと思います。職員チーム会議では、「適正である」との評価でしたが、推進委員会の総合評価を行いたいと思います。手法及びスケジュールについて、先ほどご協議いただき、特にご意見はありませんでしたので、委員会の総合評価は「適切である」としてよろしいでしょうか。

<異議なし>

佐藤委員長 当委員会の総合評価は「適切である」とさせていただきます。その他、事務局から何かありますでしょうか。

事務局（中村主任主査） 急なご案内にも関わらずありがとうございました。次回は1月の下旬頃に開催を予定しております。3月議会へ提出案件が数件予定しております。

本日は、これで第3回の委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

(閉会を宣言)